

平成22年1月1日現在

外来診療担当医一覧表

受付時間 午前8時30分～午前11時

(救急の場合は24時間いつでも受付しております) ☎(0577)32-1115

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	長瀬 裕平	長瀬 裕平	横山 敏之	横山 敏之	横山 有見子
	2 診	田近 徹	山田 勝己	田近 徹	長瀬 裕平	山田 勝己
	3 診	神戸 栄喜		飯島 也万	神戸 栄喜	飯島 也万
	4 診	野村 由佳	河田 好弘			河田 好弘
科	神経内科	山田新一(午後)	山田新一(午前)	川合圭成(午後)	川合圭成(午前)	
	内分泌			第4	第2	
	消化器内科1診	松浦 弘尚	杉山 和久	松浦 弘尚	伊佐治 亮平	伊佐治 亮平
	消化器内科2診	横畑 幸司	横畑 幸司	杉山 和久	横畑 幸司	横畑 幸司
小児科	1 診	木曾原 悟	木曾原 悟	木曾原 悟	木曾原 悟	木曾原 悟
	午後診(予約制)	乳児健診 14:30~	予約診	予防接種		予防接種
外科	1 診	森岡 淳	岡本 哲也	堀 明洋	岡本 哲也	堀 明洋
	2 診	木村 研吾	芥川 篤史	芥川 篤史	森岡 淳	浅羽 雄太郎
	形成外科(予約制)	鳥居 修平 1/15・2/19・3/19			乳腺外来(予約制)	金曜日午後
整形外科	1 診	田口 勝啓	上田 秀樹	五藤 弘	田口 勝啓	五藤 弘
	2 診	五藤 弘	田口 勝啓	上田 秀樹	上田 秀樹	田口 勝啓
脳神経外科	主診	山本 昌幸	山本 昌幸	国本 圭市	山本 昌幸	国本 圭市
皮膚科	主診	荒木 麻里	代務医師 診療開始11時より	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里
	午後診	15:00~16:00 (受付15:30まで) 学童対象			15:00~16:00 (受付15:30まで) 学童対象	
泌尿器科	主診	代務医師		横山 豊明		
産婦人科	主診	篠崎 純一 (予約制)	篠崎 純一	助産師外来 (予約制)	篠崎 純一	篠崎 純一 助産師外来(予約制)
眼科	1 診	豊島 馨	豊島 馨	豊島 馨	豊島 馨	豊島 馨
	2 診	日比 展昭	日比 展昭	日比 展昭	日比 展昭	日比 展昭
耳鼻咽喉科	主診				代務医師	

月に一度、正面受付に保険証のご提示をお願いします。

読者の広場

地域広報委員会では皆様からのお便り、ご意見等を読者の広場に掲載しております。

題材は自由で600字以内の原稿を下記編集部宛へ2月10日までにお送りください。

次の発行予定月は平成22年4月です。

編集後記

皆さん新年明けましておめでとうございます。医事課T.Kです。本年も宜しくお願いいたします。

今年は暖冬ということなかなか雪の降らず過ぎ易い日が続いていますね!

ですが、季節性や新型インフルエンザの流行が心配されていますので、予防接種も大切ですが、まずは「うがい」、「手洗い」で予防を心がけましょう!!

(表紙写真 撮影者:久美愛厚生病院 広報委員)

編集 久美愛厚生病院 地域広報委員会 岐阜県高山市大新町5丁目68番地

病院からのお知らせは、ホームページ <http://dome.ruru.jp.kumiai/> でもご覧頂けます。

あなたの健康生活をやさしく応援する情報紙

お元気ですか

第 72 号
2010.1 発行
JA岐阜厚生連
久美愛厚生病院

●年頭の挨拶

●総合案内をご利用下さい

●増加している病気“がん”について

●シリーズ 放射線

●病院からのお知らせ



二十四日市

年頭の挨拶

JA岐阜厚生連 経営管理委員会会長 上松 忍



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本会事業に格別のご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。平成22年の年頭にあたり皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

昨年4月にメキシコで端を発した新型インフルエンザは、WHO（世界保健機構）により「世界的大流行（パンデミック）」が宣言され、わが国においても感染者が増加の一途を辿り行政機関並びに医療機関では診療・予防接種等の対応に追われている状況にあります。また、一昨年からの金融危機による景気低迷が続くなか日本経済もいまだ先行きが不透明な状況下にあります。

こうしたなか、昨年の衆議院選挙により「医療崩壊を食い止め国民に質の高い医療サービスを提供する」を掲げた民主党を中心とした新政権が発足し、これまでの政策方針も大きく変化し医療現場では明るい兆しが見え始めると考えられていましたが、長引く景気低迷を背景とした税収の悪化から行財政を取り巻く環境も一段と厳しさを増し、国の事業仕分け作業においても厳しい評価がなされるなど、平成22年4月の診療報酬改定や医療関連の予算にも少なからず影響するものと想定され、本会の事業運営も引き続き厳しい環境下におかれると考えられます。

このように医療を取り巻く環境が日々刻々と変化していくなか、病院運営はこれら困難な状況に対応していくことが求められます。本会としては安全で良質な医療を提供していくため施設・設備の整備をはじめ医療従事者の確保と資質向上を引き続き行うことにより、地域医療への貢献を推し進め、併せてコンプライアンス態勢等内部統制の強化に努め、皆様に信頼され求められる病院づくりに取り組んでいく所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念いたしますとともに、本年におきましても引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成22年 元 旦

総合案内をご利用下さい。



久美愛厚生病院 1病棟3階 看護師長 平畑 和子



正面玄関を入り左側に『総合案内』があります。当院では、今年6月22日より患者様へのサービスの向上に向けた取り組みとして、朝8時30分から11時まで看護師長が輪番制で『総合案内』を担当しています。早朝より病院にみえた患者様の表情や“おはようございます”の声の調子等を伺いながら、受診の手続きや受診科選択の相談、移動の介助などをお手伝いさせていただいています。

10月末までの活動述べ件数は2,733件でした。活動内容の内訳は表の通りです。

	6月	7月	8月	9月	10月
● 緊急対応	3	4	3	3	4
● 受付方法の案内	115	432	323	299	444
● 受診科選択の相談	14	68	33	31	49
● 車椅子等の移動介助	13	36	30	22	21
● 環境調整(安全・清潔・空調等)	17	54	53	41	48
● 場所の案内	22	91	32	54	38
● 苦情等	4	4	2	6	0
● その他(一般的な相談など)	50	78	49	63	80
● 改善要望	2	33	3	4	1

「受付方法の案内」の件数が多いのは、再来受付機を初めて使うので判らない、受付方法を忘れてしまったなど、機械操作の戸惑いを生じていることが主な要因となっています。

『総合案内』を担当することで、患者様の目線で課題を見つけ、改善に取り組む事が出来ています。また、患者様から気軽に声を掛けていただいたり、近況を教えてください等、『総合案内』を担当している私達を身近な存在として受け入れていただいていることに感謝しています。今後も、地域の皆様のお役に立てるように努力していきたく思います。

私たちは、胸に『総合案内』のプレート を付けています。どのような事でもお気軽にご相談下さい。

総合案内担当



増加している病気 “がん”

について

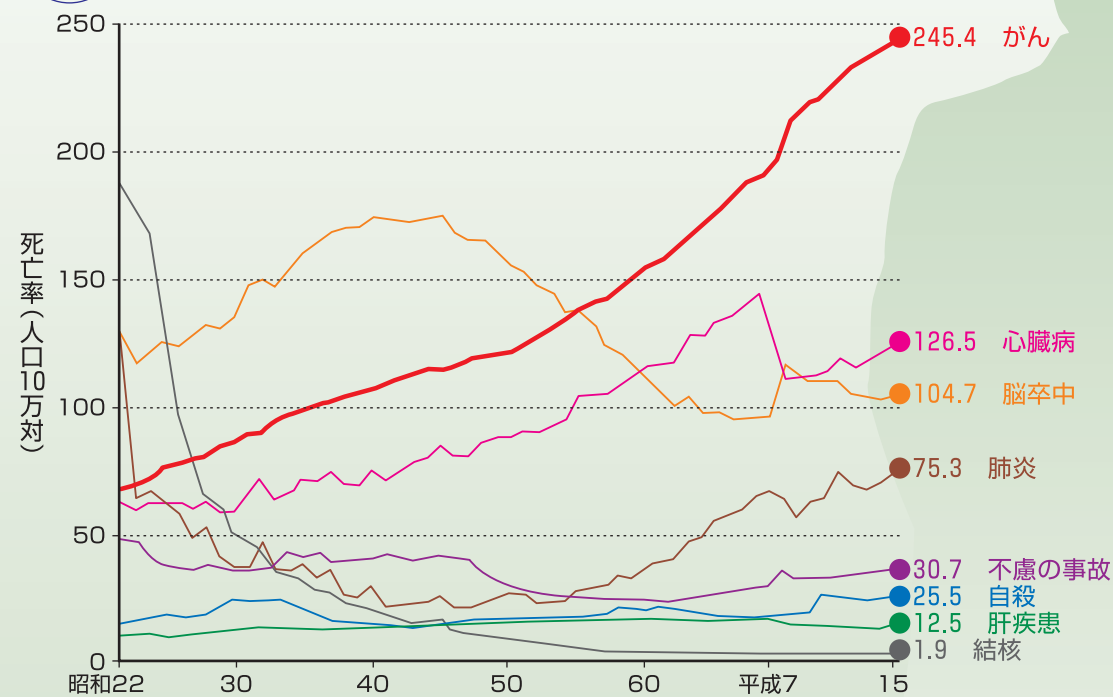


久美愛厚生病院 院長 堀 明洋

人間は生物です。わたしも人間ですので、誕生し、そしていつか死をむかえます。せつかくの生命です。長く・楽しく・有意義におくりたいものです。

日本人の生命を落とす原因、死因を年代ごとに見てみましょう(図1)。

図1 死因の年次推移



昭和20年頃は結核で生命を落とす人が最も多かったのですが、結核に対するお薬が開発され、予防接種などによる対策が進められ、結核で生命を落とす人は激減しました。

続いて昭和55年までは脳卒中の時代です。塩分をひかえるなど食事・生活環境を整え、血圧の管理など治療法も発達し、死亡率を下げることができました。

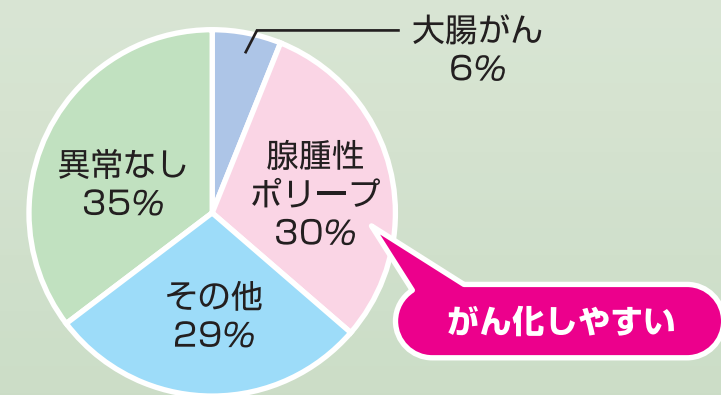
その後はがんが猛威を振るっています。現在、男性は2人に1人、女性は3人に1人が一生の間にかんにかかるといわれています。平成19年からは国の「がん対策基本計画」が始まっています。今回、がんの予防について考えていきましょう。

がんになるのを防ぐことを「がんの一次予防」、がんで亡くなるのを防ぐことを「がんの二次予防」といいます。がんの一次予防には、がん発生の危険因子(リスク)を科学的に調査研究しなければなりません。10年、20年と結果がでるまでに長い年月がかかります。たばこは肺がんをはじめ多くのがんの危険因子になっています。フロンによるオゾン層の破壊で、紫外線量が増大し皮膚がんのリスクが増加しました。子宮頸がんはパピローマウィルスの感染が原因で起こるとされています。その他、運動不足や肥満が乳がんなどのリスクを増やすことが報告されています。実際、たばこ対策でがんの発生を減らすことができました。また、皮膚がんに対する紫外線対策(フロンの使用禁止、紫外線防御対策)、子宮頸がんに対するワクチンの接種なども行われています。

しかし、現在目の前にあるがんを克服するには、治療可能な早期の段階でがんを発見し治療しなければなりません。がんは早期では症状がないことが多いのです。そこでがん検診が「がんの二次予防」として重要になっています。

大腸がん検診を例にしてみましょう。大腸がん検診では便潜血検査を行っています。便の中にある目に見えないわずかな血液も感知できます。この検査を正しく行くと、進行がんの8割、早期がんの5割ほどを発見できます。毎年繰り返すことで3/4は救命可能な段階で発見できるといわれています。便潜血検査で陽性とでたら、精密検査を受けてください。精密検査は大腸内視鏡検査です。平成19年度に久美愛厚生病院で行われた精密検査では、大腸がんが6%、腺腫性ポリープ(がん化しやすい病変です)が30%発見されました(図2)。

図2 精密検査結果 (平成19年度 久美愛厚生病院 522例の内訳)



検診は症状がない住民の方々を対象に行われます。毎年検診を受けることで、がんを治療可能な段階で発見し、治療することがたいせつです。

シリーズ 放射線 6

超音波検査

※超音波検査に放射線は使用されていません

久美愛厚生病院 放射線科

超音波検査とは？

超音波は人間の耳に聞こえない波長の音です。この音を用いて身体の中を画像にするのが超音波検査です。超音波は骨や空気があるところは検査をすることができません。例えば、骨に囲まれた頭や、空気が充滿している肺は超音波検査には向いていません。しかし、その他の臓器を観察するには安全で簡便な検査です。

放射線を使用していないため胎児や妊婦さんにも安心して検査を受けていただけます。



胎児の超音波画像

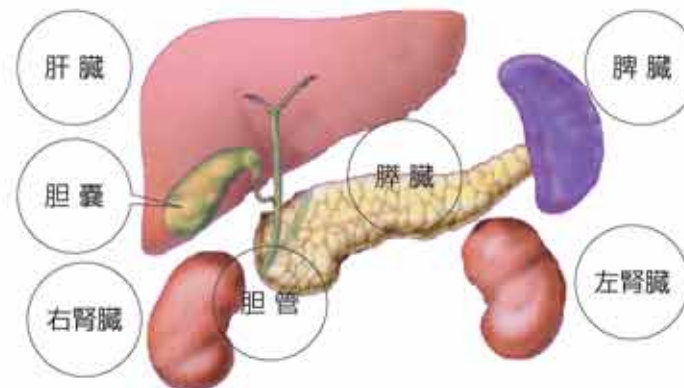


プローブ ゼリー

超音波検査はプローブと呼ばれる機器を皮膚に接触させて行います。プローブは超音波を出して、反射してきた超音波を受け止める機能があります。検査時には皮膚とプローブの間に空気が入っていると画像にならないため、身体にゼリーを塗ります。

お腹の検査を行う前に食事をしていると胃に空気が入りその下側にある臓器がみえなくなったり、胆嚢が縮んだりし精度の高い検査ができなくなります。

超音波で観察できる臓器



この他にも甲状腺や乳腺、子宮など様々な臓器に使用されます。

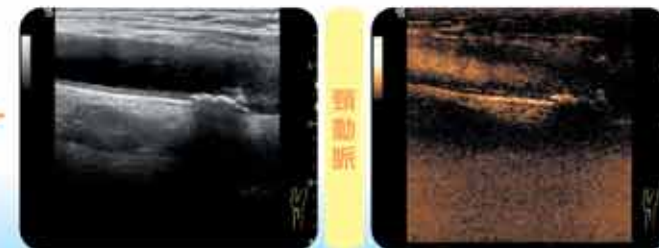


乳腺

肝臓

胆嚢(胆石)

血管も観察できます



頸動脈

血管壁の厚さを測り、動脈硬化の進み具合を調べることができます。

動脈硬化性の病変は脳梗塞の原因となります。

病院からの お知らせ

新しく赴任された医師を紹介します



外科
三輪 知弘

はじめまして。10月から外科で勤務させていただいている三輪知弘と申します。

大学卒業後、名古屋市の名古屋掖済会病院というところで研修医、外科医員として5年半勤務し、こちらに赴任させていただきました。

生まれも育ちもほぼ名古屋近郊で、高山は自分にとっての初めての未知の土地での生活になります。高山の冬の寒さは厳しいですが、人は温かく、食べ物や水がおいしく、自然に囲まれて素晴らしい土地だと伺っています。

早くこちらの生活に慣れ、皆様と共に高山の医療に貢献し、また、自分も成長していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

出産準備教室のご案内

午後2時～4時

1月～3月の開催予定日

1月21日(木)
2月18日(木)
3月18日(木)

○場所 二階会議室

○対象 妊娠28週以降

●予約制ですので参加を希望される方は、事前に、産婦人科外来へお申し込みください。

糖尿病教室のご案内

午前9時～午後2時半

1月～3月の開催予定日

1月15日(金)・29日(金)
2月12日(金)・26日(金)
3月12日(金)・26日(金)

●予約制ですので参加を希望される方は、事前に、内科外来又は栄養科へお申し込みください。